

# 対談・廃棄物処理法解説本を出版



対談する長岡氏（右）と堀口氏

BUN環境課題研修事務所主宰（元山形県職員）  
**長岡 文明氏**

アミタ持続可能経済研究所環境リスクアドバイザー室室長  
**堀口 昌澄氏**

た内容となってあり、入口が分かっている人は、この本を読めばその先がある程度明確になるのではないかと思っている。

—— 処理法が改正されるが影響は。

長岡 全体の1〜2割は影響が出ると思うが、変更になった部分は出版元の産業環境管理協会のホームページで対応することになっている。

堀口 あまの影響はないと思うが多少は出てくる可能性もあるので、ウェブ上で読者登録した人には本の内容で改正後変わる部分は別途情報提供するつもりだ。

—— お互いの著書に対する印象は。

長岡 行政マンでは書けないが、そこを知らなければ現実的に産廃の委託・委託業務が難しいという内容に踏み込んでおり、非常に興味深い。

堀口 網羅性、専門性が高く、条文理解に迷った時などに非常に役に立つのではないかと思う。問題のレベル設定などの工夫も読者に親切だ。

廃棄物処理法改正作業が行われる中、同法に関連する解説本が2冊ほぼ同時に出版された。著者の長岡文明氏と堀口昌澄氏が自身の著書の特徴とそれぞれの著書に対する印象などを語ってもらった。

## 長岡氏 国家試験問題集のような形式

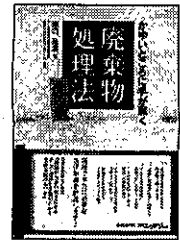
## 堀口氏 一歩踏み込んだ対応法を解説

—— 出版の経緯は。

長岡 廃棄物処理法は複雑怪奇であり、全体を理解している人は非常に少ないと思う。国家試験制度がなごうともあり、自分の知識が本当に正しいのか、習得レベルがどのあたりにあるのかを知りたいという声も聞かれる。これに答えたいと思うところもあり、今回の出版に至った。

## 読者プレゼント

「いままでわかる！ 廃棄物処理法問題集」と「いままでわかる！ 廃棄物処理法問題集」の2冊をプレゼントします。発送先住所、所属、氏名、4月に紙面刷新した環境新聞の感想・意見などを記入の上、ハガキかメールで応募下さい。宛先は〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第一富澤ビル 環境新聞編集部 廃棄物処理法本プロジェクト係。または「kankyo - henshu@kankyo-news.co.jp」（件名に「廃棄物処理法本希望（明記）」を）。当選は商品の発送を持って終了させていただきます。



「かみじゅんじゅん」手が届く廃棄物処理法の巻  
堀口昌澄 著  
日経BP社 3-500円